

新入社員のみなさん! 入社おめでとうございます!

初めての仕事や職場に対する不安や悩みはありませんか?

私たちJR東日本労働組合(東日本ユニオン)に

気軽に相談してください!



東日本ユニオンで私たちとともに働きやすい職場を創りましょう!

●**現業機関の再編**
駅・乗務員区は、庄内統括センター、新潟・長岡営業統括センター、新潟・新津・長岡運輸区に再編し、新潟支社は単独で残る形になるため、車両センターについては引き続き支社の所属で残る。

企画業務を現業機関に移管し組織を再編

「変革2027」の実現に向けた組織の再編について 提案団体交渉

新潟地本は4月25日に団体交渉を行い、「変革2027」の実現に向けた組織の再編についての提案を受けました。昨年12月に本部・本社間で提案を受けた「変革2027」の実現に向けた組織の再編に基づき、新潟支社における再編の計画について説明を受け、議論を行いました。

支社機関の4部を3部9ユニット制に再編

●組織再編の全体像

支社の業務をそれぞれ「本社・本部に集約」「現箇所で継続」「現業機関へ移管」の3パターンの組み合わせで継承・移管し、地域共創部、鉄道事業部、企画総務部に再編する。設備システムについては、各技術センターと統合して「設備技術センター」として現業機関に移行する。現在は新潟支社の所属である新潟鉄道健診センターについては、10月以降は本社付属機関であるJR東日本健康推進センターに所属替えになる。

設備の現業機関として設備技術センターを設置

設備部門に関しては、特設センターとして、現業機関に「組織再編に伴う設備システムの体制見直しについて」として要員体制を含めた提案と説明を受けました。2022年10月1日を実施日として、組織再編に伴い各設備技術センターを設置し、併せて一部技術センターの体制見直しを実施するとの案が示されました。

●企画部門について

支社設備部は、企画課と各設備の3指令が鉄道事業部の設備ユニットとして残り、それ以外は全て現業機関として設備技術センターに体制変更となる。土木・建築・機械・電力・通信は、主管課と技術センターが一対一で統合し設



備システムは、設備部の主管課と各技術センターを統合する形で10月に設備技術センターを設置する。●**企画部門の再編**
新潟支社は「本部」に組み込まれず、単独で支社として残る形になる。支社の機関として支社長・監査室はそのままとし、現行の4部を3部9ユニット制に再編する。●**スケジュール**
今年10月から全系統で企画部門の業務を順次移管し、新たな運営体制を構築。来年6月の企画部門再編を1つの到達点として業務の移管・集約等を実施して行く。

●**現業機関について**
保線関係は、代表保線技術センター(新潟保線技術センター)の保線技術グループを統合し、教育安全指導業務と保線課を統合し、新潟保線設備技術センターに集約する。土木関係は、工事課と新潟土木技術センターを統合して新潟土木設備技術センターとなる。派出の体制は村上・長岡派出に統合して、柏崎派出は執務箇所としては廃止する。



●**安全とサービスは更にアップしていくと説明**
地本交渉団は、組織の再編を行うことによる効果とサービスも更にアップしていくとの考えを示しました。支社側は、企画部門と技術センターの統合により、現場で経験等を積んでから支社企画部門という形で業務のステップアップを促して来たことにより、企画部門でなければ経験出来ない業務を柔軟に効率的に取り組みるとしました。また、仕事の一部権限委譲などにより、より柔軟に自分たちの発想の中で行うことが出来て、早い段階

●**安全とサービスは更にアップしていくと説明**
地本交渉団は、組織の再編を行うことによる効果とサービスも更にアップしていくとの考えを示しました。支社側は、企画部門と技術センターの統合により、現場で経験等を積んでから支社企画部門という形で業務のステップアップを促して来たことにより、企画部門でなければ経験出来ない業務を柔軟に効率的に取り組みるとしました。また、仕事の一部権限委譲などにより、より柔軟に自分たちの発想の中で行うことが出来て、早い段階

合して新潟電力設備技術センターとする。酒田・長岡・新潟の各メンテナンスセンターは引き続き残す。信号通信関係は、信号通信課と新潟信号通信技術センターを統合して新潟信号通信設備技術センターになる。酒田・長岡・新潟の3つのメンテナンスセンターも引き続き残す。

●**安全とサービスは更にアップしていくと説明**
地本交渉団は、組織の再編を行うことによる効果とサービスも更にアップしていくとの考えを示しました。支社側は、企画部門と技術センターの統合により、現場で経験等を積んでから支社企画部門という形で業務のステップアップを促して来たことにより、企画部門でなければ経験出来ない業務を柔軟に効率的に取り組みるとしました。また、仕事の一部権限委譲などにより、より柔軟に自分たちの発想の中で行うことが出来て、早い段階

●**安全とサービスは更にアップしていくと説明**
地本交渉団は、組織の再編を行うことによる効果とサービスも更にアップしていくとの考えを示しました。支社側は、企画部門と技術センターの統合により、現場で経験等を積んでから支社企画部門という形で業務のステップアップを促して来たことにより、企画部門でなければ経験出来ない業務を柔軟に効率的に取り組みるとしました。また、仕事の一部権限委譲などにより、より柔軟に自分たちの発想の中で行うことが出来て、早い段階

●**安全とサービスは更にアップしていくと説明**
地本交渉団は、組織の再編を行うことによる効果とサービスも更にアップしていくとの考えを示しました。支社側は、企画部門と技術センターの統合により、現場で経験等を積んでから支社企画部門という形で業務のステップアップを促して来たことにより、企画部門でなければ経験出来ない業務を柔軟に効率的に取り組みるとしました。また、仕事の一部権限委譲などにより、より柔軟に自分たちの発想の中で行うことが出来て、早い段階

団体交渉の日程決定!

- 「鶴岡駅において使用開始前のワンマンミラーを使用した事象」に関する申し入れ
- 「ツーマン運転の快速列車を異常時にワンマン運転で運行したこと」に対する申し入れ

2022年5月18日(水)
9時30分より
団体交渉に向けて
職場からたたかいを
作りだそう!

